※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	発展数学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、解決していくという活動を行います。
・３年生で学習する数学ⅠAⅡBの基本問題を確実に解けるようになると同時に、プレゼンテーション力を身につける。
・課題を理解し、解決するための方法を考え、実際に解決する。また、解決の方法によりよいものがないかということを考え、試していきます。
問題集の問題を自分で解いてみましょう。ただ、答えを求めるだけでなく、途中の式も書いていきましょう。また、自分で答え合わせをしていき、どの部分の理解が十分できていて、どの部分の理解が不十分なのか確かめる大切なものです。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

知識及び技能の面においては、数学ⅠAⅡBの基礎的な計算方法や性質等を理解し、使い分けることができるようになる。思考力・判断力・表現力等の面においては、周囲に理解されやすい解説を工夫し、解法の発表などを通して、プレゼンテーション力を向上させる。また、学びに向かう力の面においては、課題提出などを通じて、数学のよさを認識し自らの知識を活用して新たな課題に挑戦する力をつける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学ⅠAⅡBの内容を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅠAⅡBの内容について、適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学Ⅰ Aの内容	数学Ⅰ 数と式 集合と命題 2次関数 図形と計量 データの分析 数学 A 場合の数と確率 図形の性質 数学と人間の活動	a: 様々な問題を解くのに必要な計算方法や変形に慣れさせる。 b: 記述の仕方を中心に演習を通して、基礎となる表現能力を高める。 c: レポート、演習によって、意欲関心を図り,定期考査によって数学的な力や知識理解をはかる。	確認テスト 定期テスト	確認テスト 定期テスト	課題 観察等
2学期	数学Ⅱ Bの内容	数学Ⅱ 式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法 数学 B 数列 統計的な憶測	a:１学期のもとに、新たな分野の知識理解を深める。自宅学習などが出来るように、演習を進める。 b: 記述の仕方を中心に演習を通して、基礎となる表現能力を高める。 c: レポート、演習によって、意欲関心を図り,定期考査によって数学的な力や知識理解をはかる。	確認テスト 定期テスト	確認テスト 定期テスト	課題 観察等
3学期	数学Ⅰ AⅡ Bの総合問題	入試の過去問題の演習 レポート課題	a: 演習を中心に授業を展開する。レポートについては記述を中心に表現力がついているかの確認が出来るようにする。 b: 記述の仕方を中心に演習を通して、基礎となる表現能力を高める。 c: レポート、演習によって、意欲関心を図り,定期考査によって数学的な力や知識理解をはかる。	確認テスト 定期テスト	確認テスト 定期テスト	課題 観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度